

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	子ども家庭支援の心理学		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
生涯発達の観点から乳幼児期の重要性を理解し、発達初期の経験の重要性や、胎児期から老人期までの各時期における家族・家庭の意義や機能について理解を深める。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題を踏まえながら、家族や家庭の意義や機能について理解を深める。また、子どもの精神保健とその課題について基本的な理解を深め、その課題についても学ぶ。			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式を中心に、授業の内容に応じて課題のディスカッション、グループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	生涯発達とは	生涯発達という新たな発達観への変化について理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	乳児期の発達	乳児期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	幼児期の発達	幼児期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第4回	児童期の発達	児童期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第5回	青年期の発達	青年期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	成人期・老年期の発達	成人期・老年期の発達の概要を理解する。	<input type="checkbox"/>
第7回	家族・家庭の意義と機能	家族・家庭の意義や機能について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	親子関係・家族関係の理解	親子関係・家族関係について発達の観点から理解する。	<input type="checkbox"/>
第9回	子育ての経験と親としての育ち	親としての発達、家族発達について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	子育てを取り巻く現状と課題	子育てに関わる社会的状況の変化や現代的課題について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	ライフコースと仕事・子育て	ライフコースの多様化や仕事と家庭生活・子育てのバランスについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第12回	多様な家庭とその理解	家庭の多様さや養育者のメンタルヘルス、不適切な養育など配慮を要する家庭、特別な配慮を必要とする家庭について理解する。	<input type="checkbox"/>
第13回	子どもの生活・生育環境とその影響	発達初期の経験の重要性について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	子どもの心の健康に関わる問題	子どもの精神保健とその課題について理解する。	<input type="checkbox"/>
第15回	学習の振り返りとまとめ	授業で学習したことの振り返りとまとめを実施する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)	
各回の内容について、事前に講義内で示されたキーワードについて調べ、その内容を理解する(2時間程度)。授業前までに次週で扱うテーマの中にある言葉について調べてくる。授業後は配布資料を参考に授業内容を振り返り、自分で調べてきたことと照らし合わせてキーワードについてまとめる(2時間程度)。	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
毎回、講義後に振り返りを提出する。それは採点され、翌週フィードバックし、全体で共有したほうが良い内容については次回授業の冒頭で紹介する。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識や子どもとその家庭を包括的に捉える視点や知識・技能を習得することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	子育て家庭をめぐる現代社会的状況と課題や子どもの生育環境と精神保健とその課題について自ら考え主体的に問題に取り組むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎授業後、振り返りの課題、またはレポートを提出する(40%)。授業(グループワーク含む)への参加態度、意欲などを総合的に判断する(10%)授業の振り返りとまとめの課題として試験を実施する(50%)。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	特にありません	
2		
3		
4		
5		